

山田錦

品質を高めて日本一を目指そう!

米価下落で27年産は山田錦生産が急増予測



生産者通信

NPO法人
米ニケーションセンター
定価 100円(送料込)

生産者にとって経済的に非常に厳しい収穫の秋となりました。

唯一の希望の光は、新潟県で山田錦の栽培ができることを皆様の力で証明したことではないでしょうか。

しかし、新潟県で山田錦の栽培が可能ということになると、北陸を含めて南東北まで含めた、山田錦の栽培競争が始まります。(福島県喜多方市では10年前から栽培しています)すでに、その兆候は始まっていて、26年産では、品質の悪い山田錦の売れ残りが懸念されています。

酒米、もち米は需要のバランスが崩れやすく、価格高騰と下落を繰り返してきました。

米の価格の下落に歯止

提出をお願いします!

- ・山田錦栽培記録ノート
- ・アンケート

FAX又は郵送にて
11/21(金)までご返信ください



めがかからない現状では、高価格の山田錦に生産者がシフトするのはやむを得ません。

しかし、低品質の山田錦が市場に溢れることで、山田錦のブランドイメージや価格が低下するのは必至です。

その対策は、「やはり新潟県で生産する山田錦は品質が良い」と蔵元から厚い信頼を得ることが重要です。

兵庫県の産地では小規模の生産者が多く、手間暇を掛けています。篩目を2・1mm、粒張り、心

白率も70%以上、そして胴割率は1%以下と戦略的に品質の高い山田錦を出荷しています。

岡山県は大規模農家を中心に、量を追いかける戦略です。

新潟県は収穫時期の10月の天候状態を考慮すると大規模には作付できません。したがって、高品質な山田錦を栽培することが生き残りの方策です。

新潟・山田錦栽培会の真価が問われるのは2年目といえます。今年の経験を踏まえて、日本一の山田錦を目指して来年もがんばりましょう!

新潟・山田錦栽培会の皆様へ

第5回勉強会&忘年会のお知らせ

今年の経験を踏まえ、来年に向けての勉強会を慰労会をかねた忘年会を開催いたします。27年度は米価格下落の影響を受けて、山田錦の作付が大幅に増加することが確実のようです。

新潟・山田錦栽培会が新たな産地として生き残るには、品質向上が必要となってきます。

勉強会では栽培会全生産者と岡山・兵庫の山田錦を陳列し、酒米専用の分析器で計測した結果とともに検討を行う予定です。

- 1.日時 平成26年12月4日(木)
15:00~20:00
 - 2.場所 ①勉強会会場
アオーレ長岡 市民交流ホールD
長岡市大手通1-4-10 tel 0258-39-2500
 - ②懇親会会場
長岡ベルナール
長岡市千秋1-1000-1 tel 0258-29-0101
- 会費 おひとり様 6,000円**

※アオーレからベルナールへの移動はマイクロバスを用意いたしますので、公共交通機関のご利用をお願いします。

詳しくはエコ・ライス **0258-66-0070** まで